

平成 26 年度 品質管理責任者講習会（第 4～6 回）結果概要

（一社）日本冷凍食品協会の「冷凍食品認定制度」では、認定工場において品質管理、衛生管理及び施設・設備に係わる管理等に習熟した者を品質管理責任者として選任することとなっています。これは品質管理責任者が、単に製品等の検査を実施もしくは承認していれば良いということではなく、品質及び衛生の向上を図ることを目的に、工場に常駐し、品質管理諸業務を統括する必要があるためです。しかしながら、必ずしもこの役割を十分に果たしているとは言えない事例が見受けられることから、前年度の関東地区（東京）に続いて、今年度は関西（神戸）でも品質管理責任者の業務に関する講習会を開催しました。

本講習会は、品質管理責任者の業務が多岐に渡ることと、認定基準の基準Ⅰ：品質・衛生管理体制に係わる基準の内、「主に HACCP システムをベースとした工程管理に関する内容」、「主に出荷判定などの問題発生時の対応に関する内容」、「主に内部監査、マネジメントレビューを中心とした組織的な改善活動に関する内容」の改善が難しいことから、3回の講習会を1つのシリーズとしています。今回、関西地区で実施した結果は以下の通りです。

I. 日時、会場、参加者数等

講習会名	第 4 回 品質管理責任者 講習会 ～工程管理～	第 5 回 品質管理責任者 講習会 ～問題発生時の対応～	第 6 回 品質管理責任者 講習会 ～組織的な改善活動～
日時	平成 26 年 10 月 3 日（金） 10:00～17:00	平成 26 年 12 月 5 日（金） 10:00～16:30	平成 27 年 2 月 13 日（金） 10:00～17:00
会場	（一財）日本冷凍食品検査協会 関西事業所 5F・会議室	（一財）日本冷凍食品検査協会 関西事業所 5F・会議室	（一財）日本冷凍食品検査協会 関西事業所 5F・会議室
参加者数	男性:15 名 女性:6 名 計 21 名	男性:14 名、女性:5 名 計 19 名	男性:17 名、女性:3 名 計 20 名
府県別 参加者数	静岡県 2 名、滋賀県 1 名、 京都府 1 名、大阪府 4 名、 兵庫県 4 名、奈良県 1 名、 広島県 2 名、鳥取県 1 名、 香川県 4 名、徳島県 1 名	石川県 1 名、滋賀県 1 名、 大阪府 7 名、兵庫県 1 名、 和歌山県 1 名、奈良県 1 名、 広島県 1 名、鳥取県 1 名、 香川県 3 名、徳島県 1 名、 愛媛県 1 名	石川県 3 名、滋賀県 1 名、 大阪府 3 名、兵庫県 3 名、 奈良県 1 名、広島県 1 名、 鳥取県 1 名、香川県 3 名、 徳島県 1 名、愛媛県 3 名

II. 講習会プログラム

第4回 品質管理責任者講習会 ～工程管理～

1. 開催挨拶、協会事業紹介
2. 検査協会挨拶
3. 「品質管理責任者とは」
4. 「工程管理の基となる HACCP の考え方」
5. 「工程管理の班別演習」
6. 「工程管理におけるポイント」
7. 受講証明書授与
8. 閉会挨拶

第5回 品質管理責任者講習会 ～問題発生時の対応～

1. 開催挨拶、協会事業紹介
2. 検査協会挨拶
3. 「工場で遵守すべきこと」、「品質管理責任者とは」
4. 「出荷判定及び製品回収への関与」
5. 「問題発生時の対応（班別演習）」
6. 再発防止と改善活動
7. 受講証明書授与
8. 閉会挨拶

第6回 品質管理責任者講習会 ～組織的な改善活動～

1. 開催挨拶、協会事業紹介
2. 検査協会挨拶
3. 「品質管理責任者とは」
4. 「内部監査～内部監査の流れ、事前準備、監査当日の実施方法の説明～」
5. 「内部監査～内部監査の演習（模擬監査、指摘事項の報告と是正措置・予防措置の立案）～」
6. 「マネジメントレビューとは」
7. 受講証明書授与
8. 閉会挨拶

- ・開催挨拶、協会事業紹介及び閉会挨拶は当協会の尾辻常務理事が行った。その他各講義と演習は当協会の品質・技術部担当者が講師を務めた。

III. 講習会の内容

第4回 品質管理責任者講習会 ～工程管理～

- ・講義としては、品質管理部門の役割、認定制度における品質管理責任者の役割と要件、HACCP システムの概要、からあげを例にあげた製品説明書、フローダイアグラム、危害分析表の事例による HACCP の 12 手順 7 原則業務の全体概要、工程毎の管理ポイント、良くない事例、管理方法の事例等について説明しました。
- ・工程管理の班別演習では、ハンバーグの製品説明書とフローダイアグラムの事例を用いて各班で CCP の決定及び HACCP プランの作成を行うとともに、HACCP プランを発表して質疑応答を受け、その理解を深めました。

第5回 品質管理責任者講習会 ～問題発生時の対応～

- ・講義としては、コンプライアンスが求められている理由、違反の事例、組織的な活動の内容、認定制度における品質管理責任者の役割と要件、実施すべき事項、品質管理責任者が出荷保留を検

講義風景



実習班による結果発表



IV. アンケート結果

今後の参考とするため、プログラムの各内容等について参加者にアンケートをお願いした結果、第4回 品質管理責任者講習会 ～工程管理～では 20 名、第5回 品質管理責任者講習会 ～問題発生時の対応～では 18 名、第6回 品質管理責任者講習会 ～組織的な改善活動～では 20 名の方から回答をいただきました。その代表的な回答は以下の通り、どの講義も高い満足度が得られ、ほとんどの参加者が次回もこのようなセミナーに参加したいという結果でした。

講習会	総合評価	次回参加希望者
第4回 品質管理責任者講習会 ～工程管理～	4.3 点	20 名
第5回 品質管理責任者講習会 ～問題発生時の対応～	4.0 点	18 名
第6回 品質管理責任者講習会 ～組織的な改善活動～	4.0 点	19 名

評価 5 点：非常に満足 4 点：満足 3 点：普通 2 点：不満 1 点：非常に不満

講習会の評価が高かったことから、次年度も～工程管理～、～問題発生時の対応～、～組織的な改善活動～の 3 回の講習会を 1 シリーズとして、未実施の地区で開催する予定です。

以 上